

令和4年度 第27回「笠間地区 まちづくり会議」概要

日 時：令和4年9月22日（木） 19：30～20：30

場 所：笠間公民館

参加団体等：地区振興協議会、町内会長会、壮年会、笠間老健会、体育協会、子ども会指導者会、社会福祉協議会、商工連盟、JA青年部笠間地区長会、公民館運営審議会、市長会連合会理事、公民館長など

発言【1】

市民協働のまちづくりについて、組織にこだわりながら今まで進めていたが、防災を核にしてスタートしても良いとの話があったので、今後参考にしながら進めていきたい。令和6年に公民館の名称もコミュニティセンターとしてスタートするのか

【市】

公民館の機能を残し、新たに地域の課題を解決していくコミュニティセンターとして、まずは防災に取り組みます。防災で助け合いをする中で地域課題に気づき、その課題を解決していくことで、地域の繋がりが強くなれば良いと思っています。

まずは、皆さんの関心がある防災の取り組みから進めれば、令和6年度から一緒にコミュニティセンターとしてスタートできるのではないかと思います。

公民館はカルチャー教室のような行事が多いと思います。これからは、地域課題の取り組みを行っていき、公民館とは少し方向が違う面もありますので、名称を変更した方が良いと考えています。

発言【2】

- (1) 自助共助公助という言葉聞いたことがあります。被災した当日は自分たちで、そのあとは地域で協力し、その中で県と市が町とどのように関わってくるのか具体的に話してほしい
- (2) 災害とデジタル化について、笠間地区では町内連絡用のスマートフォンアプリ「結ネット」を活用しながら取り組んでいこうと思っています。それを白山市全体に広めて、デジタルで安否が確認できるシステム作りを考えてほしい
- (3) 市として年に1回防災訓練をすることは考えているのか

【市】

(1) 防災対策の基本は、自助・共助・公助の3つであると言われており、これらが上手く連携を保つことで、防災対策は効果を発揮することができます。

しかしながら、大規模な災害が発生した場合、公助（行政、消防、警察、医療機関など）の活動能力は著しく低下します。そのため、発災直後は被害をできる限り少なくするために、住民一人ひとりが自分（家族）の命を守る「自助」と地域住民が連携して自分たちの地域は自分たちで守る「共助」がとても重要となります。

なお、発災時における市や県などの公的な支援として、人命救助や支援物資の供給・調達、被災者への支援、ライフラインの復旧・復興などの役割を担っていくこととなります。

(2) 回覧板については、現在、紙での配布とともに、配布物を電子ファイルで市ホームページに掲載していますので、ご活用ください。

結ネットの活用については、他地区でも検討していると聞いております。活用事例を参考にさせていただき、検討していきたいと考えております。

(3) 現在、地区単位で防災組織や防災士等が中心となって防災訓練を行っていますが、地域の防災組織が全市的に立ち上がるなど、地域コミュニティ組織が全ての地区で設立された段階で、地域を越えた防災訓練などの実施について検討していきたいと考えています。

発言【3】

倉庫を作りたいが、コミュニティ施設の補助金制度を使うと、資金を集めるのが大変である。企業に聞くと、税の待遇があれば資金を出すという話もあります。企業版ふるさと納税を活用してコミュニティ施設整備事業に、資金収集しやすい制度を考えてもらいたい

【市】

コミュニティ施設整備事業は、町内会等が地域コミュニティ活動のための用具を保管する施設として、倉庫を新築する場合の経費に対する補助事業です。市からの補助金額は、工事費の2分の1以内、500万円を限度としています。

工事費の支払いに充てる財源については、町内会費等の自主財源が必要となりますので、町内会で協議をお願いいたします。

企業版ふるさと納税は、白山市以外に企業の本社機能があるとともに、白山市まち・ひと・しごと創生総合戦略に記載されている地域の賑わいや人口増加につ

ながるような地域活性化事業に充てるものです。

また、本市では、寄付を希望される企業に充当する事業について希望を聞いたうえで用途を決定しております。事業の効果を図るための KPI（成果指標）を設定することも重要ですので、軽体育館倉庫の設置による地域の賑わい創出、市民全体への波及効果は低いと考えられます。

さらに、企業版ふるさと納税は企業から市へ寄付するものであるため、市のコミュニティ施設整備事業補助金の財源として活用することが適正であると思われる。

発言【4】

- (1) 立派な公民館を作ってもらったが、災害時に公民館に寝泊まりすることを考えると、畳の部屋があると良い
- (2) 白山手取川ジオパークは、素晴らしいとことがたくさんあります。高倉山の中宮スキー場からは、雲海も見える。手取ダム、松任平野などすばらしい景色である

【市】

- (1) 公民館の建設にあたっては、住民による委員会の中で協議を重ねて内容を決めておりますので、ご理解をお願いいたします。災害時など非常時において公民館を利用する際には、段ボールベッドの活用など工夫していただき、環境を整えていただきたいと思います。
- (2) 白山市内全域が白山手取川ジオパークエリアになっています。他の地域は山の一部だけが指定されているのに対し、全域がジオパークというのは珍しいです。

日本ジオパーク委員会の審査を受けた際、獅子吼高原から見る平野部、扇状地は、世界的に自慢しても良いと言われました。扇状地が教科書みたいに綺麗で、海も見えるところは、世界的にも誇れる部分です。

発言【5】

加賀笠間駅に、使用しなくなった自転車をレンタル用に活用して、(仮称)白山総合車両所ビジターセンターなどに行く際に自転車で行くことができると、駅のにぎわいが出るのではないかと

【市】

ビジターセンターの最寄駅は加賀笠間駅です。財政上の問題もありますが、自由通路を計画しています。

また、令和6年度にビジターセンター周辺のレンタサイクルとシャトルバスの実証実験を予定しています。自転車の再利用やレンタサイクルの活用方法なども検討し実証実験の結果を踏まえて、レンタサイクルやシャトルバスの設置の有無について考えていきたいと思っています。